

ペットの介護とみとり

ほとんどのペットは人よりも早く歳をとります。別れは辛く悲しいですがペットにとっては飼い主の愛情が全てです。最期までみとるのは飼い主の最後の愛情と責任です。

介護

ペットの介護は飼い主にとって重要な問題です。一人で抱え込まず、家族と協力したり、かかりつけの動物病院に相談し、無理なく続けられる方法で向き合しましょう。



終末期医療（ターミナルケア）

終末期医療とは、末期患者の延命を目的とするものではなく、苦痛をなくし生活の質を向上させる医療のことです。ペットの獣医療は日々進化し、終末期にどこまでどのような獣医療を行うかを考えておく時代になってきています。かかりつけの獣医師とよく話し合い、ペットがその子らしく残りの時間を過ごせる方法を考えてあげましょう。

人間の年齢に換算した犬・猫の年齢の目安*

犬・猫の年齢	人間の年齢に換算した年齢	
	大型犬	小・中型犬、猫
6歳	47歳	40歳
7歳	54歳	44歳
8歳	61歳	48歳
9歳	68歳	52歳
10歳	75歳	56歳
11歳	82歳	60歳
12歳	89歳	64歳
13歳	96歳	68歳
14歳	103歳	72歳
15歳	110歳	76歳
16歳	117歳	80歳
17歳	124歳	84歳

*品種や飼育環境等によって違ってきます

ペットロス



愛するペットを失ったことを悲しむのは決して特別なことではありません。悲しい気持ちを友人などにきいてもらったり、お別れのセレモニーを行うなど、悲しみを十分に吐き出すようにしましょう。

NOTE

将来にもっと備えるために

▶ペットのための遺言・信託

自分がペットより先に死亡してしまったときのために、ペットを誰に託すか、残した財産をペットのためにどう使うか決めておくことができます。

▶老犬・老猫ホーム

ペットを預かり亡くなるまで世話をしてくれる民間業者（第一種動物取扱業）があります。よく調べて相談のうえ、利用するようにしましょう。

▶ペット保険

動物病院での負担を軽くするために、ペット保険（ペットのケガや病気の治療費を一部補償する保険）に加入しておく方法もあります。加入できるペットの種類や年齢、補償プラン、保険料は様々ですので、よく確認して契約しましょう。